

当院がお世話する 第23回日本老年医学会九州地方会の開催まで いよいよ1週間を切りました。多くの皆様のご協力とご参加に改めて感謝を申し上げます。これから増え続ける高齢者全般に関わる“サルコペニア”に焦点を当て、その病態や実態、リハビリ、漢方治療、積極的な摂食嚥下への取り組みと予防手段等につき、各方面のプロの方々にご講演戴きます。皆様のご両親やご自身の将来のためにも、お役立て下されば幸甚です。どうぞ宜敷くお願い致します。

ご 挨拶

第 23 回日本老年医学会九州地方会開催にあたって

会長 井林 雪郎

特定医療法人 社団三光会 誠愛リハビリテーション病院 院長

早春のやや肌寒い時節ですが、今年も皆様とともに日本老年医学会九州地方会を開催させて頂くことになりました。1979年卒業以来、九州大学第2内科（現在の病態機能内科学）において脳卒中内科学を学んで参りましたが、予想以上の高齢化の波、生活習慣の変遷、診断機器の進歩等から、30年余りの間に多くの病態が明らかとなり、病型分類・診断治療についても大きく様変わりを遂げました。ヒトは血管とともに老いるといわ



れますが、斯かる心血管系の動脈硬化性疾患だけでなく、筋骨格系を含む全身の多臓器が加齢と共に脆弱化し、その結果として高齢者は多くの病気を合併し、服用薬もその種類が増えて参ります。

本学会の共通項は老年病ということになりますが、いずれも興味深い32題もの一般演題の応募を頂戴致しました。午前の部の 1) 消化器、2) 糖尿病・代謝内分泌、3) 脳血管・神経、4) 膠原病・アレルギー・免疫、5) 循環器・腎、そして午後の部の 6) 老化・リハビリテーションの計6セッションに分類させて頂きました。午後のその他の講演タイトルは以下の通りでございます。

●ランチョンセミナー

「抗凝固療法の新展開ー直接トロンビン阻害薬を日常診療に活かすコツー」

●特別講演（教育企画）

「超高齢化時代を見据えたメタボリックシンドローム予防と治療戦略」

●シンポジウム

「オムニバスシンポジウム：高齢者サルコペニアの病態と治療」

最後のオムニバスシンポジウムでは、様々な分野の講師の先生方に、サルコペニアに関する up-to-date な知見、より実践的なお話を伺えるものと存じます。

これからの九州の老年医学の発展のためにも、活発な質疑応答や意見交換を通じて有意義な地方会になりますよう、心から会員の皆様をお願い致しますとともに、関係各位には大いなる感謝の意を表します。本日は有り難うございます。

3月9日（土）当日のプログラム内容は以下に示す通りです。

プログラム・抄録集

会場 九州大学医学部 百年講堂
〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出3-1丁目1番1号 TEL:092-642-6257

日時 2013年3月9日(土)

会長 井林 雪郎 (特定医療法人 社団 三光会 誠愛リハビリテーション病院 院長)

第23回 日本老年医学会九州地方会
The 23rd Kyushu Regional Meeting of the Japan Geriatrics Society

プログラム集表紙

第23回日本老年医学会九州地方会
The 23rd Kyushu Regional Meeting of the Japan Geriatrics Society

オムニバスシンポジウム
高齢者サルコペニアの病態と治療

日時 2013年3月9日(土) 14:50-17:25

場所 九州大学医学部 百年講堂
〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出3-1-1

座長 横山 信彦 先生 [特定医療法人 社団 三光会 誠愛リハビリテーション病院 病棟医長]
嶋津 さゆり 先生 [社会医療法人 熊本丸田会 熊本リハビリテーション病院 栄養管理科 科長]

- 1 | サルコペニアとは？そのoverview
葛谷 雅文 先生 [名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学 教授]
- 2 | Overcoming sarcopenia
～臨床現場のサルコペニア対策
吉村 芳弘 先生 [医療法人 八代桜十字 桜十字八代病院 リハビリテーション科 診療部長]
- 3 | アンチサルコペニアのリハビリとそのコツ
山田 実 先生 [京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 助教]
- 4 | サルコペニアの漢方療法
田原 英一 先生 [飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科 部長]
- 5 | 口から食べ続けることの重要性和アプローチのコツ
～急性期医療での早期経口摂取を見据えたアプローチの成果と課題～
小山 珠美 先生 [社会医療法人 社団 三思会 東名厚木病院 摂食嚥下療法部 課長]

※学費減免の都合上、シンポジウムに参加のみの場合にも、参加費1,000円をお支払いください。

共催 第23回日本老年医学会九州地方会(会長 井林 雪郎)
ネスレ日本株式会社 ネスレヘルスサイエンスカンパニー

Nestlé HealthScience
NOURISHING PERSONAL HEALTH

午後のオムニバスシンポのチラシ

第23回日本老年医学会九州地方会

日時：平成25年3月9日（土）

会長：井林 雪郎（特定医療法人社団三光会 誠愛リハビリテーション病院 院長）

会場：九州大学医学部 百年講堂

一般演題 3 2 題（消化器；糖尿病代謝内分；脳血管神経；膠原病アレルギー免疫；循環器腎；老年リハビリ）

教育企画

■特別講演 13：10-14：00 共催：MSD株式会社

「超高齢化時代を見据えたメタボリックシンドローム予防と治療戦略」

演者：益崎 裕章（琉球大学大学院医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座[第二内科]教授）

座長：井林 雪郎（特定医療法人社団三光会 誠愛リハビリテーション病院 院長）

■シンポジウム 14：50-17：25 共催：ネスレ日本株式会社 ネスレヘルスサイエンスカンパニー

「オムニバスシンポジウム：高齢者サルコペニアの病態と治療」

座長：嶋津 さゆり（社会医療法人熊本丸田会熊本リハビリテーション病院 栄養管理科 科長）

横山 信彦（特定医療法人社団三光会 誠愛リハビリテーション病院 病棟医長）

1. 「サルコペニアとは？そのoverview」

葛谷 雅文（名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科学 教授）

2. 「Overcoming sarcopenia～臨床現場のサルコペニア対策」

吉村 芳弘（医療法人八代桜十字 桜十字八代病院 リハビリテーション科 診療部長）

3. 「アンチサルコペニアのリハビリとそのコツ」

山田 実（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 助教）

4. 「サルコペニアの漢方療法」

田原 英一（飯塚病院東洋医学センター 漢方診療科 部長）

5. 「口から食べ続けることの重要性和アプローチのコツ

～急性期医療での早期経口摂取を見据えたアプローチの成果と課題～

小山 珠美（社会医療法人社団三思会 東名厚木病院 摂食嚥下療法部 課長）

■ランチョンセミナー 12：10-13：00 共催：日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社

「抗凝固療法の新展開—直接トロンビン阻害薬を日常診療に活かすコツ—」

演者：奥山 裕司（大阪大学大学院 先進心血管治療学寄附講座 准教授）

座長：松村 潔（九州大学病院 腎・高血圧・脳血管内科 講師）

職員の皆さん、今年度もお疲れ様でした、、、そして来年度もどうぞ宜しくお願いします。